

平成30年5月9日  
四国電力株式会社

## 伊方発電所3号機 充てんライン圧力計元弁付近からの1次冷却材漏えいについて

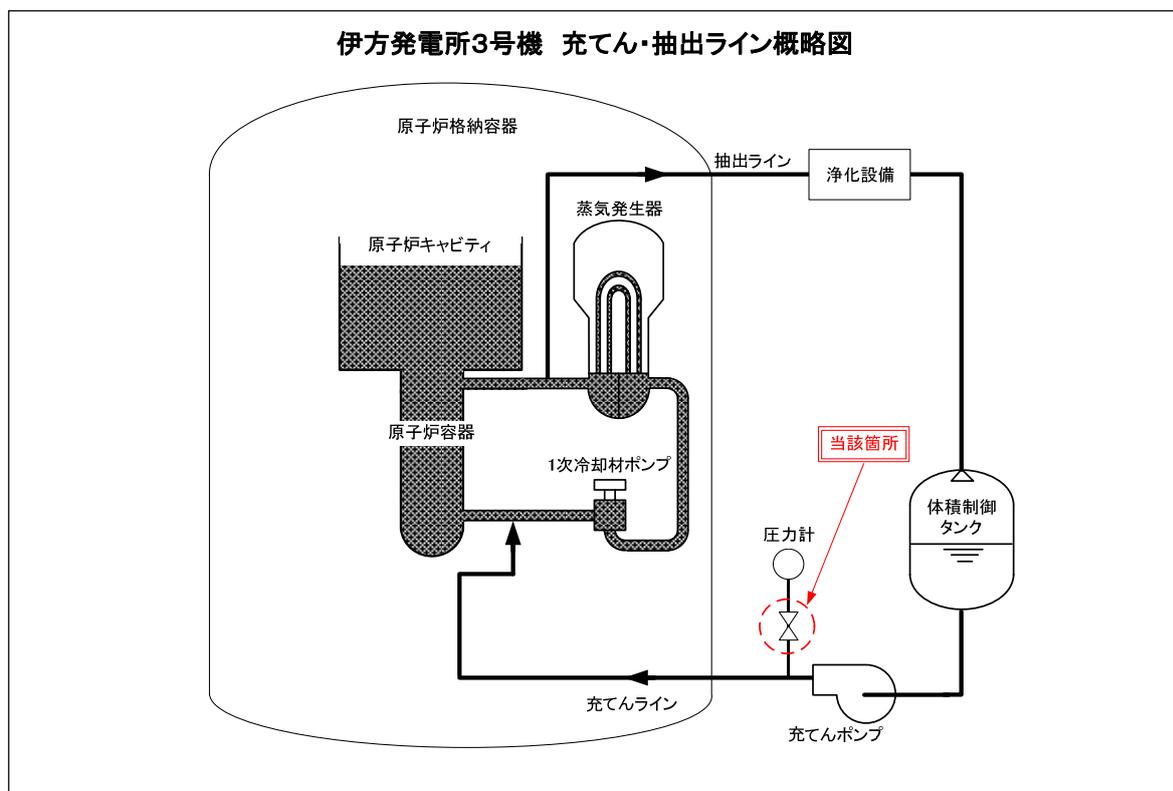
定期検査中の伊方発電所3号機（加圧水型、定格電気出力89万キロワット）の原子炉補助建屋1階（管理区域内）において、本日2時10分、巡視点検中の運転員が充てんライン圧力計の元弁付近で1次冷却材の微量な漏えいを確認しました。そのため、当該弁を閉止し、4時40分、漏えいの停止を確認しました。

なお、漏えい量は、約130ミリリットル、含まれる放射エネルギーは約20ベクレルと推定しました。

燃料については、現在、定期検査中であり、原子炉容器から取り出し、使用済燃料ピットで保管しているため、冷却状態に影響はありません。

本事象による環境への放射能の影響はありません。

今後、詳細を調査します。



以上